

あおもり漁連

代表理事会長 植村正治書

資源有限 漁業無限

No.
147

CONTENTS

- 県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ..... 1
- 全国系統団体 年頭ごあいさつ 7
- 全国漁業代表者集会.....11
- 2007活力と魅力溢れる漁村づくり
「むつ湾地区大会」12
- 「新深浦町漁協」「竜飛今別漁協」発足13
- 組合新事務所紹介.....14
- 平成19年度漁協運動功労者表彰式.....14
- 第35回「海をきれいにする運動」
入賞作品紹介.....15
- 水産に関する主な動き（10月～12月）18
- 青森県漁業共済組合からのお知らせ.....19



大間の一本釣りまぐろ 335kg 19.12.11 泉 千里さん

2008 1

21世紀は漁村の時代

平成19年度 漁協運動功労者表彰式



J F 十三
代表理事組合長

工 藤 伍 郎

平成19年度（第22回）漁協運動功労者表彰式が、去る11月21日、東京虎ノ門パストラルで開催され、本県のJ F 十三の工藤伍郎代表理事組合長を含む三十五人が表彰された。

主催者の服部郁弘 J F 全漁連会長から「燃油価格高騰や経営不振漁協対策など山積みの諸問題を解決するためにも、皆様方の経験を学ぶと共に、一層のお力添えを賜りたい。」との挨拶があり、続いて、来賓の岩永農林水産副大臣が祝辞を述べた。

功績内容

永年に亘り、十三漁協の組合員としてシジミ漁に従事し、平成6年には理事、平成9年には代表理事組合長に就任した。

組合長就任後は、持ち前の優れた指導力と統率力を発揮し、シジミの価格向上を目的としたトレーサビリティを県内ではいち早く導入し、安全・安心を前面にした販売に取り組んでいる。

また、近年、厳しさを増す漁協経営を鑑み、積極的に合併を推進し、組合員の意識の高揚に務めている。

第35回「海をきれいにする運動」 入賞作品紹介

青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会の共催による第35回「海をきれいにする運動」は、関係者のご協力により本年度の事業を無事終了することができました。

この運動は、むつ湾の資源保護や漁場環境の保全を図り、むつ湾の美しい海を後世に継承することを目的として、今年も7月20日から10月31日までの期間に各漁協のご協力のもと海岸清掃等が行われました。

また、この運動の一環として、むつ湾沿岸の小・中学校の生徒を対象に、海をテーマとした作品を募集したところ、図画149点、ポスター209点、作文89点、標語446点の合計893点の応募があり、専門審査員による厳正な審査の結果、各部門の優秀作品が決定され、去る12月15日（土）青森県水産ビルにおいて表彰式を開催致しました。この中で、図画の部の優秀作品（小学校6点）については、全漁連主催の第30回「全国海の子絵画展」へ出品しております。

本運動にご協力をいただきました関係者の方々に対し、厚くお礼申し上げますと共に、来年度も引き続き本運動を展開して参りますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、図画・ポスター・標語の入賞作品並びに作文の特選については、青森県水産ビル2階ギャラリーへ展示致しておりますので、ご来館の際は是非ご覧下さるようお願い申し上げます。



第34回「海をきれいにする運動」作品審査結果

《図画の部》

賞	学 校 名	学年	氏 名	[小学校]
★特選	平内町立東田沢小学校	6	畑 井 咲 乃	[小学校]
★準特選	平内町立山口小学校	2	佐 藤 大 輝	
★	青森市立久栗坂小学校	3	折 館 崇 久	
★佳作	平内町立東田沢小学校	1	蝦 名 稀 麟	
★	"	6	山 本 真 優	
★	"	6	笹 原 茉 倫	
	"	1	笹 原 昂 真	
	野辺地町立野辺地小学校	1	四 戸 啓 介	
	青森市立油川小学校	2	伊 藤 颯 太	
	青森市立久栗坂小学校	2	白 坂 悠 成	
	青森市立野内小学校	2	芳 賀 龍之介	
	青森市立久栗坂小学校	3	長 尾 優 由	
	平内町立東田沢小学校	3	田 中 風	
	蓬田村立蓬田小学校	4	小 松 愛 可	
	平内町立東田沢小学校	4	畑 井 莉 乃	
	"	4	笹 原 伶 珠	
	外ヶ浜町立蟹田小学校	5	小 川 洸	
	むつ市立脇野沢小学校	5	櫛 引 千 種	
	青森市立久栗坂小学校	6	堤 沙 椰 香	
	平内町立東田沢小学校	6	田 中 美 帆	

★第30回全国海の子絵画展 出展 (6点)

《ポスターの部》

賞	学 校 名	学年	氏 名	[小学校]
特選	むつ市立奥内小学校	6	新 山 満 帆 子	[小学校]
準特選	外ヶ浜町立蟹田小学校	2	清 水 星 那	
"	青森市立沖館小学校	6	船 橋 芳 紀	
佳作	青森市立油川小学校	1	堀 川 拓 海	
"	青森市立高田小学校	1	大 柳 杏 未	
"	外ヶ浜町立平館小学校	3	平 沼 夏 実	
"	むつ市立第三田名部小学校	3	柴 翔 太	
"	青森市立沖館小学校	4	渡 辺 ほのか	
"	むつ市立第一田名部小学校	4	中 村 夢 子	
"	青森市立油川小学校	5	成 田 純 梨	
"	"	5	神 山 千 奈	
"	青森市立原別小学校	5	森 山 奈 保	
"	青森市立油川小学校	6	原 慈 実	
"	"	6	向明戸 結 衣	
"	青森市立原別小学校	6	工 藤 友 美	
"	"	6	佐 藤 友 美	
"	"	6	竹 林 良	
"	"	6	津 川 和 志	
"	むつ市立第二田名部小学校	6	佐々木 柚 香	
"	むつ市立奥内小学校	6	二本柳 みぶき	

《中学校》

賞	学 校 名	学年	氏 名
特選	外ヶ浜町立三厩中学校	3	飯 田 遥
準特選	青森市立造道中学校	1	平 野 順 子
"	"	2	藤 井 智 之
佳作	外ヶ浜町立三厩中学校	1	内 木 美 里
"	青森市立造道中学校	1	浜 田 美 紀
"	"	1	荒 谷 結 希
"	外ヶ浜町立三厩中学校	2	正 木 桃 子
"	青森市立造道中学校	2	坂 本 智 浩
"	"	2	風 晴 美 沙
"	"	2	中 畑 華 香

《作文の部》

賞 名	題 名	学 校 名	学年	氏 名
特選	はたての仕事をして	平内町立浅所小学校	6年	遠嶋 直幸
準特選	俺には聞こえる海の声	むつ市立大湊中学校	1年	室館 慶裕
"	海からのSOS	"	1年	齋藤 幸歩
佳作	流れてきた海のごみ	平内町立浅所小学校	6年	細川 知里
"	むつ市の下水道	むつ市立大湊中学校	1年	由谷 美波
"	あみにかかったごみ	平内町立浅所小学校	6年	小林 玲子
"	青森の素晴らしい海	むつ市立大湊中学校	1年	久保田央之
"	海はゴミ箱じゃない	平内町立浅所小学校	4年	細川 陽平

《標語の部》

賞 名	題 名	学 校 名	学年	氏 名
特選	海の幸 育てて守って 豊かな未来	むつ市立第二田名部小学校	6年	杉山 咲子
準特選	捨てないで 海の未来は あなたの未来	青森市立原別小学校	6年	櫻庭 佑緑
"	大事にね みんなの海と 砂浜を	むつ市立第一田名部小学校	6年	坪 亜衣佳
佳作	いつまでも きれいにしたい ぼくのうみ	野辺地町立馬門小学校	1年	荒川 愁平
"	海ではね ポイすていけない きんしだよ	外ヶ浜町立蟹田小学校	2年	石田 一恵
"	魚たちの いのちも同じ ひとずつ	むつ市立奥内小学校	3年	畑中 真幸
"	はじめてね きれいな海を 泳いだよ	外ヶ浜町立平館小学校	3年	小川 徹風
"	青い海 ホタテの国を 大切に	平内町立東田沢小学校	5年	笹原 愛梨
"	見えてくる かがやくこの海 この地球	むつ市立大湊小学校	6年	大西美早紀
"	信じてる きれいな海に 戻る日を	むつ市立大湊中学校	2年	澤野 大地

第三十五回 「海をきれいにする運動」

作文の部 特選 『ほたての仕事をして』

平内町立浅所小学校 六年 遠嶋 直幸

『この車だろう。』

ぼくが耳づりの手伝いをやって、家に帰る時のことです。一台の見知らぬ車が、テトラポットのすぐ横に停まっていました。ぼくは、何をしているのか不思議に思っ、しばらく見ていました。すると、男の人がたたくさんのごみを捨てているではありませんか。ぼくは、びっくりしました。

ぼくの家ははたての養いよくをしています。

ぼくも、一年生の時から、毎年、かご運びや耳づりなどを手伝っています。その日は、耳づりの手伝いで、ぼくと父がはたてに穴を開け、母と祖母が穴にアゲピンをさす仕事をしていました。せつかく仕事が終わって、さっぱりした気分だったのに、ぞつとした気持ちになりました。

その車が行ってしまうまで、ぼくはじっと見ていました。男の人もぼくの方をじっと見てきたので、ぼくは少しこわくなって、小屋の方にもどりました。

ぼくがもう一度出てみると、車は行ってしまっていました。へいを登って、テトラの向こうの

海を見ると、弁当のからやペットボトル、たばこのすいがらが、ぶかぶかと浮かんでいるではありませんか。ぼくは、「なんであの人は、ごみを海に捨てるんだらう。」と、腹が立ってたまりませんでした。

家に帰ると、父はもう帰ってきていました。

ぼくはさつそく、今のことを話しました。

「お父さん、今日、テトラさ、たんげ、ごみ捨てた人だよ。」

すると、父はこわい顔をして、

「何で、おめは注意してこねがつたんだ！」

と、少し怒った声で言いました。ぼくは、「あ、んだな。注意すればよかった。」と思いました。でも、「相手は大人だから、こわくて注意できないな。」とも思いました。

次の日、ぼくとお父さんは、船に乗って、昨日さしたはたてのロープを、海に下げに行きました。船が海に出るときは、いつもきん張ります。のしを上げるのに、きちんと機械に引っかけないとしずんでしまうからです。父は、

「直幸、がんばれよ。」

と、静かに言いました。ぼくは、ロープの先に付いたおもりを海に投げて、のしに引っかきました。機械が動き始めると、のしがだんだん上がってきました。のしが海面に出てきた時、ぼくはびっくりしました。のしに、スーパリーの袋やおかしのからなどが、ロープにたくさん引っかかっていたからです。

「父っちゃ、こげさ、こつたにごみ引っかかてるよ。」

と、大きな声で父に言うと、父は、

「わい。」

と、怒った顔で言いました。ぼくは、昨日の、ごみを捨てていった人のことを思い出しました。そして、「あの人は、どうして自分の家にごみを捨てないで、海に捨てたのだらう。ぼくは、お父さんと海に出るから、海がごみできたなくなっているのがわかるけど、あの人は、海がこんななきたなくなっていることを、わからないのかもしれない。」と思いました。

海にすてられたごみは、いつまでも残ります。そして、はたてののしや、魚のあみに引っかかってくるのです。

ぼくと父で、のしに引っかかったごみを外していくと、アゲピンのかごいっぱいになりました。外しながら、ぼくは、「今度、ごみを捨てている人を見つけたら、こわくても、ちゃんと注意しよう。」と、強く思いました。

船が岸に着いて、ごみを船から下ろしました。ごみを袋につめて、力いっぱい口を結ぶと、ぼくは、ごみ捨て場に向かって、歩いて行きました。

水産に関する主な動き（10月～12月）

10月	事 項	場 所
4日(木)	大型クラゲ被害防止対策会議	今 別 町
9日(火)	大型クラゲ被害防止対策会議	む つ 市
15日(月)	東通地区漁協合併推進協議会	東 通 村
16日(火)～17日(水)	大畑町漁協指導監査	む つ 市
18日(木)	大戸瀬・舳昨・岩崎村漁協合併総会	深 浦 町
20日(土)	高速フェリー漁業被害 現場確認及び協議会	青 森 市 他
22日(月)	青森県東部海域漁業協議会 総会	青 森 市
24日(水)	小型いか釣漁船における省エネ方策検討会	東 京 都
26日(金)	漁船海難防止講習会（大畑町漁協）	む つ 市
30日(火)～11月1日(木)	佐井村漁協監査	佐 井 村

11月	事 項	場 所
1日(木)	トド対策会議	青 森 市
1日(木)	第1回新深浦町漁協設立委員会	深 浦 町
5日(月)	大型クラゲ洋上駆除事業に係る説明会	深 浦 町
6日(火)	大型クラゲ洋上駆除事業に係る説明会	む つ 市
7日(水)	救命胴衣着用推進（マリンレディース研修会）	浅 虫
7日(水)～9日(金)	石持漁協指導監査	東 通 村
8日(木)	トド対策会議	青 森 市
8日(木)	第1回竜飛今別漁協設立委員会	今 別 町
8日(木)	野辺地町・横浜町漁協合併推進協議会	野 辺 地 町
13日(火)～15日(木)	田名部漁協指導監査	む つ 市
14日(水)	第19回「青森県水産賞」選考委員会	青 森 市
21日(水)	第2回新深浦町漁協設立委員会	深 浦 町
22日(木)	第2回竜飛今別漁協設立委員会	今 別 町
26日(月)	2007活力と魅力溢れる漁村づくり「むつ湾地区大会」	青 森 市
28日(水)～30日(金)	下前漁協指導監査	中 泊 町
30日(金)	平成19年度秋季養殖ホタテガイ実態調査報告会	青 森 市
30日(金)	第3回竜飛今別漁協設立委員会	今 別 町

12月	事 項	場 所
1日(土)	漁船海難防止講習会（深浦漁協）	深 浦 町
3日(月)	平成19年度漁業者協議会（日本海・むつ湾ブロック）	鰯ヶ沢町・青森市
6日(木)	トド対策会議	青 森 市
7日(金)	漁船海難防止講習会（尻労漁協）	東 通 村
13日(木)	燃油高騰対策を求める「漁業経営危機突破！漁業代表者集会」	東 京 都
13日(木)	平成19年度青森県青年漁業士等認定委員会	青 森 市
14日(金)	平成19年度青森県水産試験研究成果報告会	青 森 市
15日(土)	第35回「海をきれいにする運動」優秀作品表彰式	青 森 市
21日(金)	漁協決算事務研修会	青 森 市
21日(金)	平成19年度漁業者協議会（太平洋ブロック）	む つ 市

～青森県漁業共済組合より～

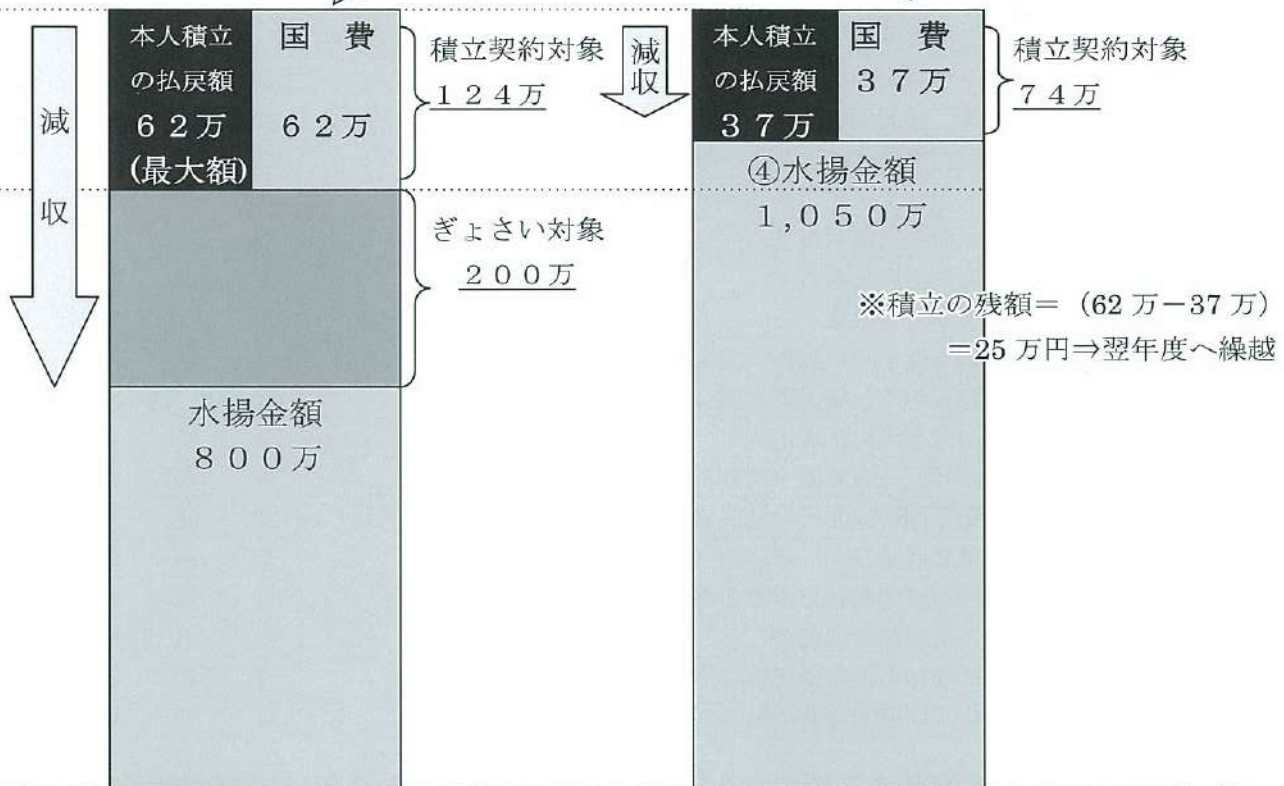
20年4月より実施される

漁業経営安定対策事業の支払イメージは以下のようになります。

最終的な内容が固まり次第、漁協及び漁業者の皆様方に対する説明会を実施致しますので、よろしくお願い致します。

例2：積立契約加入の場合
ぎょさい+積立契約あわせて最大
244万の支払い

例3：積立契約加入だが
ぎょさい無事故の場合
積立契約のみ74万の支払い



積立契約 = 本人積立の払戻 62万 + 国費 62万

(1 : 1)

= 124万

※本人積立の払戻し = (②1,125万 - ③1,000万) × 1/2
= 62万

漁業共済金 = 200万 × 0.8 × 0.75
= 120万

積立契約 = 本人積立の払戻 37万 + 国費 37万

(1 : 1)

= 74万

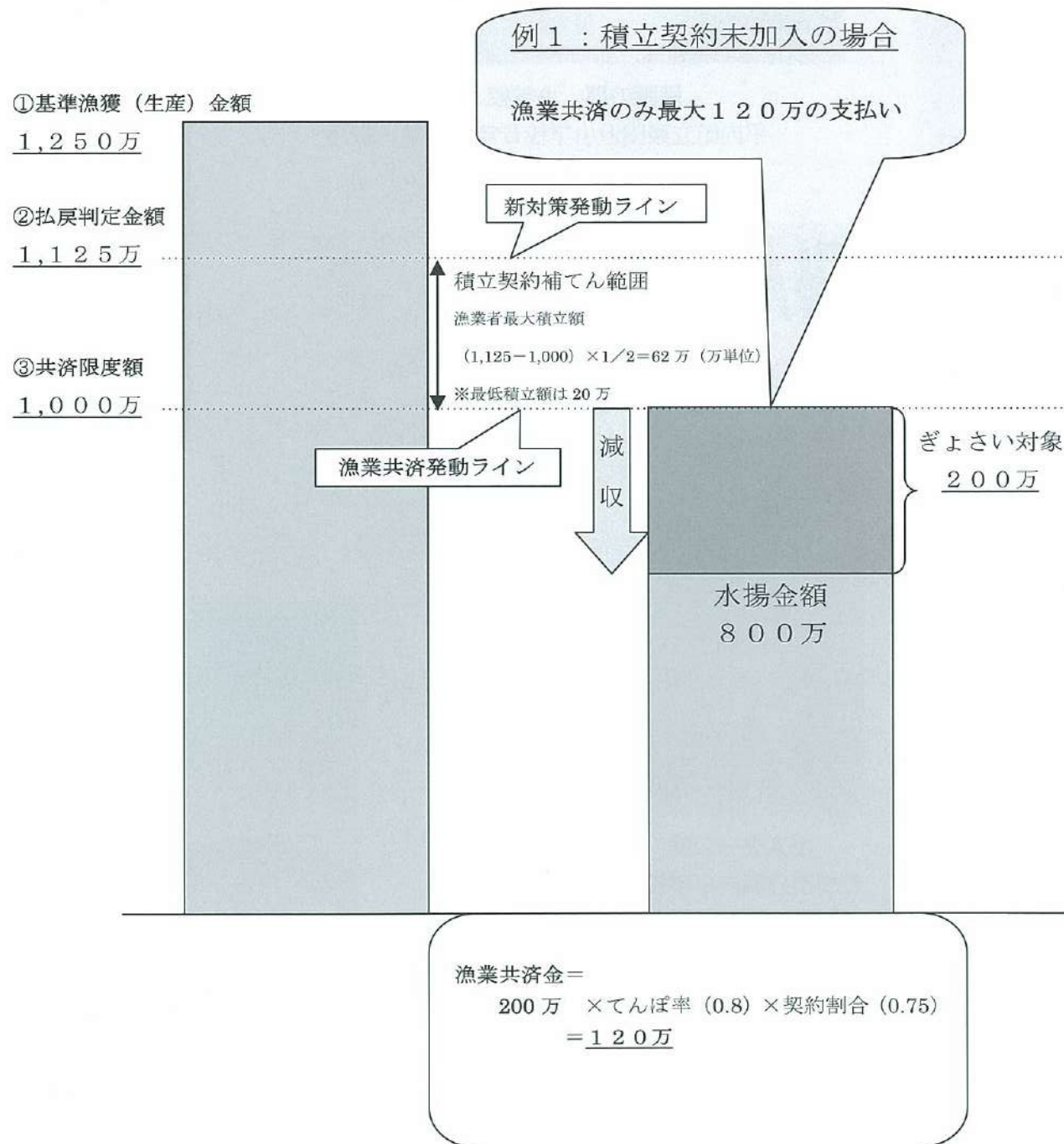
※本人積立の払戻し = (②1,125万 - ④1,050万) × 1/2
= 37万 < 本人積立 62万のうち 37万 >

漁業共済金 = 無事故なので支払いなし

※ 払戻し出来る額は、漁業者+国費=10万円以上の場合に限ります。

具体的な支払いイメージ

◆共済契約前提条件・・・約定20%、契約割合75%、限度額率80%の場合



お問い合わせ先：青森県漁業共済組合
TEL 017-722-4044